

# せたがや 区議会だより

この区議会だよりは再生紙を使用しています

No.134  
5/8

第1回定例会の主な会議日程  
 3月2日 本会議(代表質問)  
 3日 本会議(一般質問)  
 9日 本会議(議案の議決)  
 10日~23日 予算特別委員会  
 26日 本会議(会派意見、議案の議決)

発行 平成4年5月8日 〒154 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会事務局 ☎(3412)1111 事務局長 津吹 金一郎



駒沢公園にて

## 4年度予算が成立

今号では、平成4年第1回定例会での審議内容などを紹介いたします。  
 今回の定例会は、3月2日から26日まで、25日間の会期で開かれました。

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。  
 今回の定例会には、区長から60の案件が提出され、すべて原案どおり可決されました。

#### 4年度各会計予算 4件

- 一般会計  
(賛成多数 賛成議員:公、共、社、生、保、民、無、反、守、保、守、保、守)
- 国民健康保険事業会計  
(賛成多数 賛成議員:公、共、社、生、保、民、無、反、守、保、守、保、守)
- 老人保健医療会計  
(賛成多数 賛成議員:公、共、社、生、保、民、無、反、守、保、守、保、守)
- 中学校給食費会計  
(賛成多数 賛成議員:公、共、社、生、保、民、無、反、守、保、守、保、守)

#### 3年度各会計補正予算 3件(全員賛成)

- 一般会計(第2次)
  - 国民健康保険事業会計(第1次)
  - 老人保健医療会計(第2次)
- 補正後の各会計予算額は次のとおり。  
 一般会計 二二一四億五三二七万七千円  
 国保会計 三二億七千七百七十七円  
 老医会計 三十九億五四三万四千円

#### 条例の新設 7件(全員賛成)

- 個人情報保護条例  
個人情報保護制度を創設した。
- 情報公開・個人情報保護審議会条例  
情報公開・個人情報保護審議会条例
- 職員の育児休業条例  
地方公務員の育児休業等に関する法律の制定に伴うもの。
- 消費生活条例  
区民の消費生活の安定と向上を図るため、条例を新設した。

#### 条例の改正 26件

- 財団法人に対する助成条例(全員賛成)  
勤労者共済会の財団法人化に伴い、勤労者サービスク(旧勤労者共済会)を助成対象に加えた。
- 監査委員条例(全員賛成)  
地方自治法の改正に伴い、常勤の監査委員を設置したことなど。
- 職員の給与条例  
(賛成多数 賛成議員:公、共、社、生、保、民、無、反、守、保、守、保、守)
- 非常勤職員の報酬・費用弁償条例  
(賛成多数 賛成議員:公、共、社、生、保、民、無、反、守、保、守、保、守)
- 私立幼稚園園舎増築資金貸付条例(全員賛成)  
貸付限度額を、五〇〇〇万円から七〇〇〇万円に引き上げた。
- 情報公開条例(全員賛成)  
個人情報保護制度の創設に伴い、規定を整備した。
- 中小企業振興事業資金融資貸付条例(全員賛成)  
中小企業従業員独立開業資金の融資対象の対象者を拡大した。
- 消費者センター条例(全員賛成)  
名称を「消費生活センター」と改めるとともに、事業内容の規定を整備した。

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や  
 時候のあいさつ状などは禁止されています。

2頁へ続く

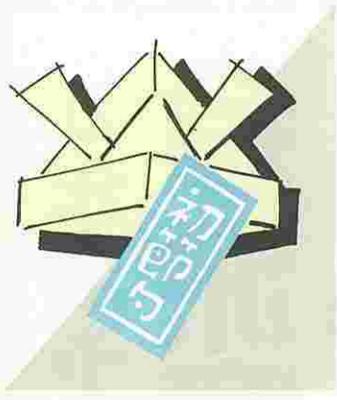


# 予算特別委員会での 主な質問・要望事項

予算案の審議にあたっては、議長を除く54人の議員で構成する、「予算特別委員会」が設置され、区政の様々な分野ごとに活発な議論が行われました。その内容を項目にまとめ、分野別にお伝えします。

## 企画総務領域

- 自由民主党
  - 経営感覚を持った行財政の運営
  - 財源確保に向けた積極的な取り組み
  - 公共用地取得体制の整備
  - 第3セクターの活用と指導、監督の徹底
  - テレビ広報と広報紙の一層の充実
  - 国際交流の促進と海外姉妹都市の拡大
  - 多彩な区制60周年記念事業の実施
  - 区民税の収納率向上
  - 入札業者の選定基準の明確化
  - 職員の服務規律の順守
- 公明党
  - 積極的な財源確保と弾力的な財政運営
  - 完全土曜閉庁に伴うサービス低下の防止
  - 魅力あるテレビ広報の制作
  - 監査制度の一層の充実
  - 公共施設整備指針の早期策定
  - 管理職の充足と魅力あるポストの整備
- 日本共産党
  - オンブズマン制度の創設
  - 国政選挙での国の全額経費負担



## 区民生活領域

- 労働時間短縮に向けた十分な職員の配置
- 育児休業を取りやすい職場環境の整備
- 日本社会党
  - 完全週休2日制導入への万全な取り組み
  - 選挙での公平性の確保と投票率の向上
  - 職員の健康管理体制の整備
- 生活者ネットワーク
  - 区内在住外国人との交流の促進
  - 子供区議会の開催
- 民社党・無所属クラブ
  - 電算業務の見直しとシステム開発の推進
  - 保守系無所属
    - 飲ませ食わせの芸術文化懇話会の違法性
- 世田谷行革110番
  - 公益事業に限定したサービス公社の経営

## 福祉保健領域

- 商店街・中小企業振興策の拡充
- 日本社会党
  - 砧公園地下への火葬場の設置
  - リサイクル事業の着実な展開
  - 社会情勢をふまえた女性施策の推進
- 生活者ネットワーク
  - 区民ニーズに応じた集会施設の整備
  - 消費者教育の一層の充実
- 民社党・無所属クラブ
  - リサイクル推進体制の整備
  - 保守系無所属
    - ミス・コンなどお祭り区政の見直し
- 世田谷行革110番
  - 生態系を無視したサケ放流事業の見直し

## 区民生活領域

- 自由民主党
  - 地域行政の一層の推進（地域特性に応じた施策の展開、官公署の適正配置など）
  - 町会、自治会への支援強化
  - 火葬場、葬祭場の早期設置
  - 防災対策の一層の充実
  - リサイクル事業の積極的な推進（ストックヤードの設置、回収業者との連携強化、環境教育の充実など）
  - 商店街の活性化
  - 農業振興策の拡充
- 公明党
  - 地域行政の積極的な展開（総合支所と本庁との連携強化、出張所機能の拡充など）
  - 区民施設の利用マナーの指導徹底
  - 行政が主体となったリサイクルの推進
  - 緑化事業の促進
  - 中小企業への融資斡旋制度の改善
- 日本共産党
  - リサイクル社会の実現（焼却中心の清掃行政の見直し、企業ゴミの減量対策など）
  - 自然環境の保全に向けた強力な取り組み

## 福祉保健領域

- 自由民主党
  - 区民と一体となった地域福祉の推進
  - 社会福祉法人に対する助成の拡大
  - 病児保育への取り組み
  - 福祉機器のリサイクル推進
  - 障害者の雇用促進
  - 健やかな老後を迎える予備知識の普及
  - 老人クラブ活動への支援強化
  - 区立特養ホームの入所定員の拡大
  - エイズに関する正確な知識の普及
  - 保健所のリハビリ事業の拡充
- 公明党
  - 保育園の低年齢児定員の拡大
  - 3歳児までの乳幼児医療費助成の実施
  - 障害者への住宅供給の促進
  - 区内全域での高齢者給食サービスの展開
  - ショートステイ事業の拡充
  - 光カールドによる健康管理システムの導入
- 日本共産党
  - 高齢者福祉の拡充（在宅サービスセンターの増設、住宅改修への助成拡大など）
  - 低年齢児保育の一層の充実
  - アレルギー児の実態把握と適切な対応

## 都市整備領域

- 日本社会党
  - 保育園の年齢別定員の弾力的な運用
  - 障害者福祉施策の一層の推進
  - 中町公園老人集会所の早期建て替え
  - 生活者ネットワーク
    - 高齢者施策の推進（住宅供給の拡大、休養ホームの増設、情報誌の改善など）
- 民社党・無所属クラブ
  - 玉川地域への高齢者施設の増設
- 保守系無所属
  - 特別養護老人ホームの川場村への建設
- 世田谷行革110番
  - 高齢者給食サービス事業の拡充

## 文教領域

- 世田谷行革110番
  - 厳正な建築指導の徹底
- 自由民主党
  - 教育委員会と区長部局との連携強化
  - 学校5日制の導入に向けた体制整備
  - 公立学校離れへの積極的な対応
  - 学校改革の推進（改革中の教育環境の整備、児童生徒数の推移の把握など）
  - 学校給食の充実
  - パソコンサク教育の推進
  - 外国人児童生徒へのきめ細かな対応
  - 名所旧跡を結ぶ「歴史の道」の整備
  - 総合運動場への温水プールの早期設置
- 公明党
  - 学校5日制に備えた地域の受け皿づくり
  - 児童生徒の成人病予防対策の充実

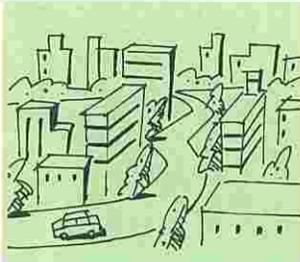
- 校長の意欲高揚と指導力の強化
- 学校での消費者教育の充実
- 学校庭園づくりを通じた環境教育の推進
- クラブ活動専門の指導員の導入
- 日本共産党
  - 学校5日制によるゆとりある教育の推進
  - 家庭の教育費負担の軽減
  - 平和副読本の作成と学校での活用
  - 図書館の増設と司書の十分な配置
- 日本社会党
  - 学校5日制導入に向けた万全な取り組み
  - 児童生徒の健康管理の徹底
  - 中学校でのきめ細かな進路指導
  - 生活者ネットワーク
    - 学校改革時の良好な教育環境の維持
    - 学校、家庭の連携強化と教員の資質向上
- 民社党・無所属クラブ
  - 学校でのリサイクル活動の促進
  - 保守系無所属
    - 教育長の指導力発揮による公教育の改善
- 世田谷行革110番
  - 学校職員の不必要な残業の是正



予算特別委員会

# 4年度予算に対する 会派意見の あらまし

最終日の本会議で、8人の議員が各会派を代表して、平成4年度各会計予算に対する意見を発表しました。その要旨をお伝えします。



## 効率的な行財政運営に努め 住みよい都市づくりを進めよ

——自由民主党——  
(賛成意見)

高齢社会や都市問題への対応など、区政の課題は山積している。景気の後退に伴う歳入不足により、行政サービスが低下しないよう、財源確保に万全を期せ。事務事業の見直しや経費削減など、経営感覚を持つ行財政運営にも努めよ。

安全で快適な都市の実現には、基盤整備が不可欠だ。都市計画道路や主要生活道路の整備など、道路事業に強力に取り組め。生産緑地法の改正により宅地化される農地は、区で必要なものを計画的に取得するとともに、乱開発防止に向け、地区計画や区画整理を促進せよ。用途規制も見直し。区民の利便を図るため、南北交通網の整備や駅へのエスカレーターの設置、駐輪場の増設などに努めよ。小田急線の連続立体化を急ぐとともに、沿線街づくりの促進も図れ。また、三軒茶屋再開発ビルの上層階を取得し、区民が集い、憩える施設を設置せよ。区民と協力してリサイクルシステムを確

立することが重要だ。区民の意識啓発やリサイクル施設の整備、モデル地区の拡大に取り組め。回収業者の育成にも努めよ。

高齢者福祉では、施設整備を進めるとともに、在宅サービスの充実にも努めよ。福祉、保健、医療の連携による健康増進事業の推進や生きがい対策の強化も図れ。また、障害者福祉、児童福祉施策を拡充せよ。福祉を担うマンパワーの確保にも積極的に取り組め。

地域経済の活性化に向け、中小企業への融資制度の拡充や商店街の支援強化に努めよ。農業の振興にも力を注げ。

公立学校離れが深刻となっている。区民の信頼に応える教育行政を推進せよ。教員の資質向上やパソコン教育の充実にも努めよ。また、学校5日制が真に子供たちにゆとりをもたらすよう、導入に万全を期せ。切実な区民要望に応え、火葬場や葬祭場の早期建設に取り組め。



## 区民要望に応える施策に 全力で取り組み

——公明党——  
(賛成意見)

区長は、5期目を「飛躍の時代」と位置付け、21世紀を展望した積極的な施策を推進していくことを表明した。全職員が意欲と積極性を十分発揮して、新たな時代にあふさわしい区民サービスの提供に努めよ。

区民サービスの時間延長や休日対応など、多様化する区民要望に的確に対応していかなければならない。一方、労働時間の短縮のため、職員の完全週休2日制を実施する必要がある。これらの課題を解決できるような勤務体制やサービスのあり方を検討せよ。

また、きめ細かなサービスの提供するためには、公社や財団の活用がますます重要になってくる。運営方法や事業内容へのチェック体制を整備せよ。

区長は、5期目を「飛躍の時代」と位置付け、21世紀を展望した積極的な施策を推進していくことを表明した。全職員が意欲と積極性を十分発揮して、新たな時代にあふさわしい区民サービスの提供に努めよ。

「寝たきりゼロ作戦」の着実な推進に向け、具体的な施策の実施が急がれる。寝たきり予防の意識啓発だけでなく、地域での保健、福祉のネットワークの形成など、山積する課題の解決に積極的に取り組め。

乳幼児医療費助成の早期実施と対象者の拡大に取り組め。女性の社会進出を支援するために、延長保育や夜間保育などを充実せよ。

住宅対策は、区政の抱える最重要課題の一つだ。家賃補助も大切だが、長期にわたる住宅を安定的に供給できるよう、公共住宅の早期建設を強く要望する。



## 区民生活の向上をめざし 積極的に施策を展開せよ

——日本共産党——  
(賛成意見)

国は、軍事費の増額や大企業優先の大型プロジェクトなどを進める一方で、臨調行革の名のもとに、福祉や医療、教育関連予算を大幅に削減しようとしている。消費税の引き上げも検討中だ。都も、各種公共料金の値上げや大企業中心の臨海副都心開発を進めるなど、都民不在の行政を一層推

し進めている。

こうしたなか、区が予算編成にあたり、特別養護老人ホームの建設やデイホーム、生活実習所の増設など、高齢者や障害者に対する福祉施策を数多く事業化したことを高く評価する。

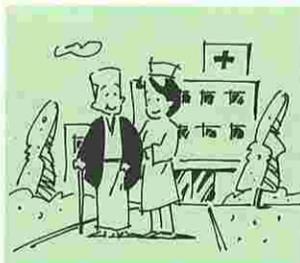
乳幼児の医療費助成の実施にあたっては、

所得制限を撤廃するとともに、対象年齢を拡大せよ。高齢者給食サービス事業の一層の充実にも努めよ。

区民と一体となって、リサイクル社会の実現をめざせ。ゴミ問題を根本的に解決するため、清掃行政を焼却中心型から、資源循環型へ転換するよう、都に働きかけよ。

良質で低廉な住宅の供給拡大に向け、住宅整備方針の策定を急ぎ、具体的な施策を積極的に展開せよ。

貴重な緑地空間である農地の保全に力を注げ。特に、生産緑地の指定対象にならない小規模農地の保全策を講じよ。



## 住民参加を促進し 区民本位の区政運営を

——日本社会党——  
(賛成意見)

景気が後退し、厳しい経済情勢が続くことが予測される。多様な区民ニーズに応えるため、柔軟な行財政運営に努めるとともに、住民参加の区政を積極的に推進せよ。

職員の完全週休2日制の実施にあたっては、行政サービスの低下を来さないよう、万全を期せ。

育児休業法が制定されたが、育児休業を取った場合、上の子が保育園を退園させられてしまうなどの問題がある。区は、保育行政の充実をはじめ、育児休業を取りやすい条件の整備に努めよ。

地球規模での環境破壊が深刻となるなか、環境問題への取り組みがますます重要となっている。区民と一体となって良好な環境の保全、創出に力を注げ。

ゴミの減量に向け、大量消費、大量廃棄のライフスタイルを見直すよう、区民の意識啓発を図れ。リサイクル事業に対する財政援助を都に強く働きかけよ。

悪徳商法から区民を守るため、消費生活条例に基づき、悪質業者は公表するなど、業者への指導を強化せよ。

本格的な高齢社会を目前にして、住み慣れた地域で十分なサービスを受けられるよう、在宅福祉施策を積極的に推進せよ。福祉、保健、医療の連携を強化することも、福祉マンパワーの確保、養成にも努めよ。また、乳幼児医療費助成制度の対象者の拡大を図れ。

区民が安心して住み続けられる住宅施策の推進が重要だ。ファミリー層への住宅供給の拡大や都営住宅の移管促進に全力を注げ。生産緑地法の改正に伴い、農地が宅地化される場合は、乱開発や地価の高騰を招かないよう、行政指導を徹底せよ。

学校5日制の実施を機に、子供たちにゆとりを取り戻し、豊かな人間性を育む教育環境を整備することが大切だ。学習指導要領の全面的な見直しを国に強く要望せよ。





### 区民と一体となって リサイクル事業を推進せよ

——生活者ネットワーク——  
(賛成意見)

バブル経済の崩壊などで景気が低迷し、  
税収の見込みは厳しい。経済性をふまえた  
質の高いサービスの提供に努めよ。

働く女性を支援するため、需要の多い0  
～2歳児保育の定員を増やせ。学童クラブ  
を各地域にバランス良く配置せよ。

消費生活条例の制定を大いに評価する。  
今後は市内の連携を強化し、意識啓発や情  
報提供、条例のPRを行い、自立した消費  
者の育成に努めよ。

生産緑地制度の改正で、貴重な緑地空間  
である農地の減少は避けられない。営農の  
支援や区民農園の設置の働きかけなどを行  
い、指定を受けない農地もできる限り保全  
せよ。宅地化される農地は、地区計画制度



### 新たな行政需要にこたえるため 事務事業の見直しを進めよ

——民社党・無所属クラブ——  
(賛成意見)

景気の後退など、厳しい経済状況のもと、  
多様化する区民要望に的確にこたえるため  
は、効果的で効果的な行政運営が必要だ。  
計画的な事業執行と事務改善に努めよ。

生産緑地制度の改正により、農地の転用  
が増加する。実施計画の表現に必要な用地  
として、積極的に取得せよ。

都庁の新宿移転で、当区は新都心圏に組  
み込まれようとしている。それにふさわし  
い都市基盤整備を強力に推進せよ。

などを活用して乱開発の防止に努めよ。公  
共用地としての取得にも力を注げ。

リサイクルの推進に向け、企業が回収資  
源を原料として活用するようPRせよ。区  
民には再生商品の使用を促せ。また、リサ  
イクル法の改善を国に求めよ。

環境配慮指針に基づいた公共施設の建設  
を進めよ。特別養護老人ホームにソーシ  
エネレーションシステムを導入せよ。雨水の  
地下浸透設備の普及も図れ。

教育センターに区民が利用できるコンピ  
ューター室を設置せよ。テレビ広報での手  
話通訳の拡大も図れ。個人情報保護条例を  
広く区民に周知せよ。また、区政を担う職  
員の資質向上に向け、研修に力を注げ。

リサイクル事業を全区的に展開するため、  
区内の連携強化を図れ。学校でのリサイク  
ル活動や、給食で発生する生ゴミの処理機  
の全校配置も進めよ。また、利用者の立場  
から、区民施設の運営方法を見直せ。  
地域バランスに配慮してテイクアウトの増  
設を図れ。福祉、保健、医療の連携のもと、  
きめ細かな寝たきり防止策を展開せよ。  
学校を地域の一員ととらえ、家庭や地域  
と協力して開かれた学校づくりに取り組め



砧公園にて

### お祭り・タニマチ行政をやめ減税を

——保守系無所属——  
(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

政治の要諦は、税金をなるべく取らない  
ことと無駄を省くことだ。区長が、巨額の  
基金をため込みながら減税を拒絶したのは  
遺憾だ。ミス世田谷を待たせお祭り行政に  
浮かっているバブルの時代は去った。美術

### 無計画な行政を排し支出を削減せよ

——世田谷行革110番——  
(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

経済情勢が厳しくなり、より一層の堅実  
な行政運営が求められている。しかし、  
区は、不要不急の事務を見直さないうまま、  
起債という名目の借金までして事業を拡大  
しようとしている。国や都からの補助金付

き事業を安易に予算化しているのも問題だ。  
また、三軒茶屋再開発ビルの最上階を、利  
用目的や資金計画を示さないうまま取得しよ  
うとしている。こうした、行き当たりばつ  
たりに計画性のない予算には反対する。

## 請願

皆さんから出された請願の審議結果など  
をお知らせします。

### 審議が終了したもの

#### 採択 12件

- ◇中洲工務店の操業にともない発生する生  
活環境破壊行為並びに迷惑行為の排除を  
求める請願
- ◇粕谷地域に区民施設を求める請願
- ◇(南)錦木材店の建築基準法、都市計画法、  
風致地区条例に違反する建物の取締りを  
求める請願
- ◇駐輪場の設置を求める請願(桜上水駅周  
辺)
- ◇京王線へ連絡するバス路線開設等交通改  
善に関する請願
- ◇京王線へ連絡するバス路線開設等交通改  
善に関する請願

#### 不採択 1件

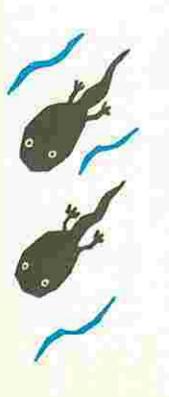
- ◇「東京都青少年の健全な育成に関する条  
例」の早期改正についての請願

#### 取り下ろし 1件

- ◇「東京都青少年の健全な育成に関する条  
例」の早期改正についての請願

#### 新規に付託されたもの

- ◇「世田谷区「平和都市宣言」にもとづく平  
和施策に関する請願
- ◇「区民生活委員会へ付託 7件
- ◇東京都青少年の健全な育成に関する条例  
の早期改正についての請願
- ◇東京都青少年の健全な育成に関する条例  
の早期改正についての請願
- ◇「東京都青少年の健全な育成に関する条  
例」の早期改正についての請願
- ◇「東京都青少年の健全な育成に関する条  
例」の改正に関する請願
- ◇「コメのいっさいの市場開放反対の意見  
書」採択に関する陳情
- ◇給田地域に区民施設を求める請願(給田  
4・5丁目)
- ◇廃乾電池回収ポスト設置に関する請願
- ◇「福祉保健委員会へ付託 3件
- ◇千歳台学童クラブ新設の請願
- ◇経堂小学校区内学童クラブ設置に関する  
請願
- ◇桜丘花の子学童クラブの増設を求める請  
願
- ◇「都市整備委員会へ付託 8件
- ◇不二工機製作所新棟建設に関する陳情
- ◇株式会社ミツマル本社社屋及び独身寮  
(一部賃貸)の建設反対に関する請願
- ◇株式会社ミツマル本社ビル独身寮(一部  
賃貸)建設に関する請願
- ◇仮称「グラントメゾン千歳烏山」(積水  
ハウス)建設計画反対に関する請願
- ◇(仮称)島澤ビル建設反対に関する請願  
(上祖師谷4丁目25番)
- ◇成城学園前駅通りの放置自転車撤去に関  
する請願
- ◇都民住宅建設工事に関する陳情(玉川田  
園調布1丁目19番)
- ◇子どもの遊び場のための民有地借用に  
関する請願(世田谷2丁目28番)
- ◇文教委員会へ付託 1件
- ◇中町小、玉川中の給食に関する請願
- ◇「交通対策委員会へ付託 1件
- ◇玉堤・野毛地域に大井町線と結ぶ循環バ  
ス運行をもとめる請願



# 代表質問

初日の本会議で、4人の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

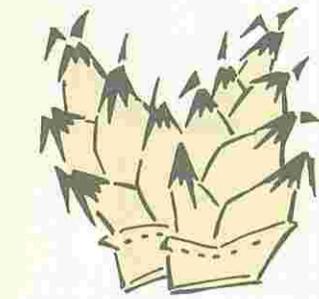


## 安全で快適な街づくりに全力を注ぎ

自由民主党

**質問** 生産緑地制度の改正により、農地の宅地化が活発になると予測される。乱開発を防止し、安全で住みよい街をつくるため、遅れている道路などの基盤整備に全力を注ぎ、社会情勢にあわせた都市整備方針の見直しや、厳しい用途規制の緩和を図れ、貴重な緑地空間である農地をできるだけ保全するためにも、農業振興策を強化せよ。また、三軒茶屋の再開発ビルの最上階に区民が集い、楽しめる展望室を設置せよ。

**区長 助役 都市整備部長** 計画的な宅地化と、道路、公園などが整備された良好な街づくりに取り組んでいく。農業を続けていけるよう、支援策を検討している。展望室は今後検討してみたい。



**質問** 本格的な長寿社会の到来に備え、在宅介護支援センターの設置を急ぐなど、積極的に在宅福祉を推進せよ。寝たきり予防に向けた生きがい対策の一層の強化も図れ。

**質問** 景気の後退が顕著となり、区の財政状況の悪化が懸念される。的確な見通しのもと、堅実な財政運営に努めよ。



**質問** 景気の後退により、歳入の不足が懸念される。後期実施計画を確実に実現するため、財源の確保には万全を期せよ。

**質問** 大企業の利潤第一主義のもと、日本の労働者は、低賃金、長時間労働を強いられ、過労死や突然死が急増している。区長は、この実態をどうとらえているのか。

**区長 労働時間の短縮など、労働環境の改善が重要だと考えている。**



## だれもが安心して暮らせる社会の実現を

公明党

**質問** 景気の後退により、区の財政状況の悪化が懸念される。的確な見通しのもと、堅実な財政運営に努めよ。

**質問** 障害者の社会参加を促す施策の充実が急がれる。福祉工場の建設など、就労の場の確保に積極的に取り組め。また、区民が容易に健康管理ができるよう、ICなどを利用した健康カードシステムを導入せよ。

**質問** 戦後の悲惨さを後の世代に語り継ぐため、平和資料館の建設に取り組め。

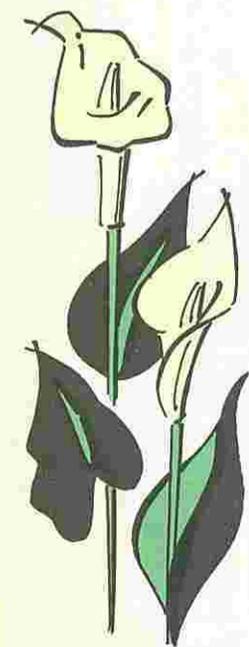
**質問** 戦後の悲惨さを後の世代に語り継ぐため、平和資料館の建設に取り組め。

**質問** 景気の後退により、厳しい財政状況が続くと予測される。計画事業の推進に支障を来さぬよう、財政運営には万全を期せよ。

**質問** 景気の後退により、厳しい財政状況が続くと予測される。計画事業の推進に支障を来さぬよう、財政運営には万全を期せよ。

## 世界平和を願い 平和事業を推進せよ

日本社会党



5日制導入の準備を進めている。

# 一般質問

2日目の本会議では、11人の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。



## 平和の尊さを 後世に伝えよ

**共産** 戦争の悲惨さを伝えるため、平和資料館の設置や、平和教育の副読本の作成に取り組み、平和の国際交流も促進せよ。  
**企画部長** 調査、検討を進めたい。作成中の戦争体験記録文集の活用を考えたい。姉妹都市などとの友好を深めていきたい。

**自民** 区民の健康増進を図るため、区民健康村に温泉を活用した施設を建設せよ。  
**区長** 湯量の確保を含め、検討したい。

**社会** 個人情報保護制度が実施されるが、区民や企業、職員にその意義や必要性を十分周知し、実りある制度とせよ。

**助役** 制度が円滑に運営されるよう、区民へのPRや職員の意識啓発に努めていく。

**保守無** 70億円もの基金のため込みは、税金の取り過ぎの結果だ。自治体独自の住民税の減税は、法的に問題なしと決着がついている。奢侈、成金行政をやめ、減税せよ。

**助役** 基金は安定的な財政運営のため必要だ。減税を区単独で行うのは困難だ。

**民社・無** 社会の変化に的確に対応した区政を推進するため、行財政の改善に積極的に取り組む。

**企画部長** 今後とも、組織体制のあり方や事務事業の見直しに努めていく。

**保守無** 区長は予算委員会に常時出席し、答弁は原稿の朗読でなく、自分の考えで述べよ。大会派中心の根回し行政も改めよ。

**区長** 助役以下が責任を持って組織的に対応している。正確な答弁には資料は必要だ。



## リサイクル社会の 実現をめざせ

**公明** ゴミの発生量を抜本的に減らすリサイクル社会を形成するためには、住民の自主的なリサイクル活動に頼るだけでは限界がある。行政が主体となって、清掃事業にリサイクルシステムを取り入れていくことが必要だ。しかし、ゴミの「焼却、埋め立て」に重点を置いている現在の清掃行政には、その視点が全く欠けている。資源ゴミの徹底した分別収集や、清掃工場への大規模ストックヤードの併設など、都に清掃行政の根本的な見直しを強く働きかけよ。区としても、きめ細かなリサイクル事業を進めるため、ゴミの収集・運搬事業の早期移行や、リサイクル条例の制定に努めよ。

**助役** 生活環境部長 リサイクル型の清掃行政に転換するよう都に要請していく。移管の促進に努める。条例は、移管の時期や区民の合意形成の状況などを見て検討する。

**民社・無** 地域行政の発足後1年たつが、出張所は役割を十分に果たしていない。出張所が地域の課題を把握し、その解決に積極的に関与していく体制を整備せよ。

**区長** 地域住民との連携強化や、出張所が活動しやすい条件づくりに努めていく。

**自民** 世田谷消防署松原出張所跡地に、集会所などの区民施設を建設せよ。

**助役** 北沢総合支所長 用地の取得に努め、地元の要望に応えていきたい。

**公明** 緑被率の低下を防ぐため、生産緑地に指定されない農地を区民農園として保全せよ。国の認定する樹医の協力を得て、緑化事業を展開せよ。屋上緑化にも努めよ。また、休憩施設などを備えた大規模市民農園「クラインガルテン」の設置も検討せよ。

**助役** 生活環境部長 区民農園の拡大を図る。樹医の導入は考えたい。普及に努める。実現に向け、検討組織を設置する。

**共産** 砧南区民センター建設計画は、予定地を変更しても、早期実現を図れ。また、砧地域への社会教育課分室の設置も急げ。

**砧総合支所長** 都市開発部長 社会教育部長 予定地の区画整理を促進し、建設を急ぐ。地域での社会教育事業を拡充していく。社会 災害時にはトイレの確保が深刻な問題となる。対策には万全を期せよ。



## 福祉マンパワーの 確保に努めよ

**社会** 福祉を担う人材を確保するため、民間福祉施設に勤務する人への家賃補助制度の拡充を図れ。家事援助事業に携わる家政婦の賃金の引き上げも検討せよ。

**高齢対策室長** 都市整備部長 対象施設の拡大や制度のPRに努める。賃金の見直しも含めて、事業の充実に取り組みたい。

**自民** 出生率が低下するなか、安心して子供を生み育てられる環境づくりが必要だ。実施予定の乳幼児医療費の助成制度の具体的な内容を示せ。

**助役** 早期実施に向け、医師会などと協議を進めていく。

**生活系** 要介護高齢者の増加に対応した福祉施策の一層の充実が急がれる。計画中の区立特別養護老人ホームの一日も早い開設に取り組み。ホームの建設にあたっては、環境配慮指針を十分ふまえるとともに、入所者が利用しやすい生活設備を工夫せよ。

24時間の看護体制に切りかわるよう、職員の確保に万全を期せよ。緊急事態に備えた医療体制も整備せよ。民間の特別養護老人ホームへの支援にも力を注げ。また、遅れて

いる在宅福祉サービスの拡充にも積極的に取り組む。

**助役** 福祉部長 高齢対策室長 早期建設に努めている。環境面や利用者の利便に十分配慮したい。労働条件の整備に努める。設置される診療所に対応していく。民間施設の援助を拡充する。今後とも、多様な施策を考えたい。

**自民** 高齢者施設や障害者施設の建設にあたっては、緊急時に十分な救助活動が行えるよう、周辺道路の整備に努めよ。施設自体もゆとりのあるものとせよ。

**助役** 施設の機能性や安全性の確保はもちろん、快適性や周辺環境にも十分配慮する。行革110番 高度医療機器MRIをリースで導入しようとしているが、買い取った方が安い。体内の検査に極めて有効なMRIを数多く設置するため、リースではなく買い取りにせよ。検査項目も示せ。



## 土地区画整理事業を 促進せよ

**自民** 生産緑地法の改正は、大都市圏での住宅供給の促進が目的の一つだ。しかし、砧・烏山地域の農地の大半は、道路が未整備な区画整理予定区域にあるため、宅地化が困難な状況だ。区画整理の促進に向け、総合支所への担当課の設置、事業手法の工夫に努めよ。また、住宅が密集し、区画整理が困難な地区は、予定区域から除外せよ。

**区長** 助役 都市整備部長 都市開発室長 新たな施行方法を研究するとともに、住民の理解と協力を得ながら、都市基盤の整備に努めていく。国や都と協議したい。

**共産** 小田急線の高架化に関する都の環境影響調査は、内容や方法に問題が多い。区独自のきめ細かな調査を実施せよ。また、早期立体化のためにも、地下式を強く望む。

**助役** 調査結果に対する意見を都に提出した。事業の推進に向け、努力していく。

**自民** 区役所周辺は木造住宅が密集し、道路も狭く、防災上問題が多い。建物の共同化や不燃化、道路整備など、防災まちづくりに積極的に取り組む。特に、若林公園通りなどの主要生活道路の拡幅に力を注ぐと

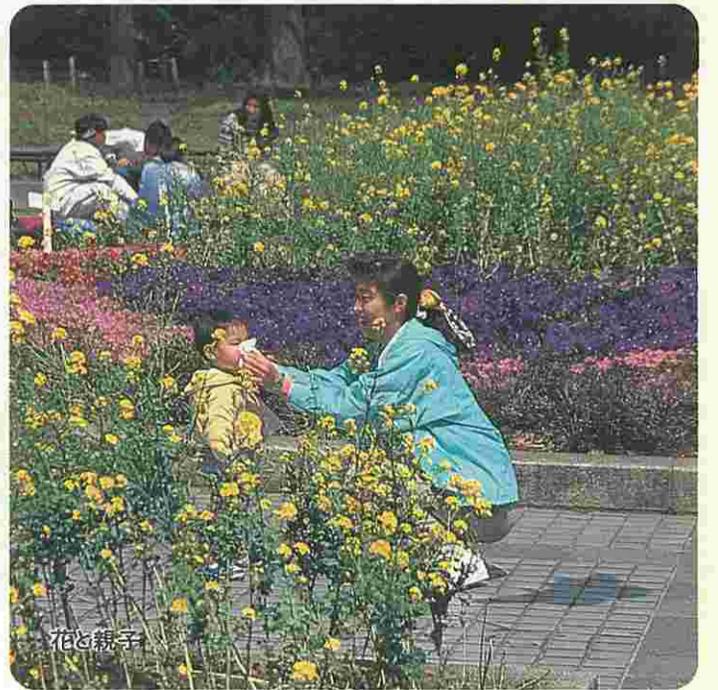
ともに、都との連携を密にして補助154号線などの都市計画道路の早期完成をめざせ。

**都市整備・道路整備部長** 国や都の制度を活用して、災害に強いまちづくりに取り組んでいく。今後とも用地の取得に努める。

**自民** 世田谷通りは災害時の避難路だ。沿道の不燃化事業を一層推進せよ。

**助役** 事業の促進に向け、努力する。

**民社・無** 三軒茶屋再開発ビルの最上階を取得し、区民に開放せよ。



花と親子

ともに、都との連携を密にして補助154号線などの都市計画道路の早期完成をめざせ。

**都市整備・道路整備部長** 国や都の制度を活用して、災害に強いまちづくりに取り組んでいく。今後とも用地の取得に努める。

**自民** 世田谷通りは災害時の避難路だ。沿道の不燃化事業を一層推進せよ。

**助役** 事業の促進に向け、努力する。

**民社・無** 三軒茶屋再開発ビルの最上階を取得し、区民に開放せよ。

**助役** 十分に検討したい。

**行革110番** 三軒茶屋再開発の資金計画が極めて不透明だ。景気の後退や事務所ビルの供給過剰が続くなか、再開発ビルの保留床の売却によって、当初より4割も増加している建設費を確実に回収できるのか。また、区は現在持っている土地の価格に見合ったスペースを、ビル内に取得できるのか。

**助役** 現在、権利変換の最後の詰めとあわせて、保留床の処分についても最終的な協議を重ねている。



## 性教育の充実に向け 取り組み

**自民** エイズや性モラルの低下が社会問題となっている。小中学校で、きめ細かな性

教育を実施せよ。  
**教育長** 教師の研修会を行うなど、組織的、計画的に取り組んでいく。  
**公明** 道路の不法占用や車の違法通行などにより、通学路の安全性が脅かされている。商店街や町会、警察などと協力し、安全確保に取り組め。ガードレールを設置できない通学路には、カラー舗装を施せ。  
**建設・学校教育部長** 学校での安全指導を徹底するとともに、関係機関と連携して対策を講じていく。モデル路線の成果を見ながら、取り組んでいきたい。  
**自民** 高齢化が進行する一方で、児童生徒数は減少している。学校改革の際は、特養ホームなどの福祉施設との複合化を図れ。  
**教育長** 学校を、児童生徒と地域住民が相互に利用し合えるような施設としたい。  
**社会** ロッククライミングの練習施設を建設せよ。  
**社会教育部長** 安全面なども含め検討する。  
**保守無** 学校施設整備計画は、40年にもわたるもので児童生徒の激減への対応を欠き、教育現場を無視したオープン教室や安易な複合化を進めるなど、危機に立つ公教育の立て直しに当たっていない。見直しを求める。  
**教育長** 生涯学習時代にふさわしい学校施設を整備していきたい。



次回の区議会定例会は6月8日～15日に開かれる予定です

区長の区議会招集  
あいさつ(要旨)

社会の変化に対応した  
区政を推進

社会情勢が目まぐるしく変化するなか、区民福祉の向上に果たす区の役割は、ますます増大しています。人間の尊重と地域からの発想を大切に区政の推進に全力を尽くします。

当面の課題としては、新しい生産緑地制度への対応が急務です。農業の振興と良好な街並み整備の観点から取り組んでいきます。また、区民本位の区政を推進するため、23区初の消費生活条例と個人情報保護条例を提案しました。さらに、健康村事業10周年を記念して、川場村に「友好の森」を建設する予定です。4年度の予算編成にあたっては、健全財政の維持を基本に、山積する課題の解決に向け、重点的な財源配分をしました。

生涯学習の観点も取り入れた学校改革を計画的に進めます。文学館建設や総合運動場プールの温水化にも取り組めます。だれもが安心して暮らせる地域社会の形成をめざし、第2特養ホームの建設用地の取得など、高齢者施策の充実にも努めます。乳幼児医療費や白内障用特殊メガネなどの購入費用助成も実施します。障害者の自立への支援や福祉を担う人材の確保にも力を注ぎます。また、保健センターに高度医療機器MRIを導入し、地域医療の充実にも取り組めます。

リサイクル事業を一層推進するなど、地球環境に配慮した施策を進めます。また、勤労者共済会の財団法人化を機に、新たな事業を開発し、勤労者の福利厚生にも力を入れます。

区民の自主的なまちづくり活動を支援するため、まちづくりセンターを建設します。小田急線連続立体化の促進や駐車場の整備、放置自転車対策の拡充などにも努めます。また、三軒茶屋や二子玉川などの再開発を積極的に推進します。

雨水浸透設備への助成を拡充するなど、自然環境の保全に努めます。また、環境と調和した都市のあり方を研究し、快適な都市環境の創造を図ります。住宅供給を促進するとともに、住環境の整備にも、強力に取り組んでいきます。

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関に提出しました。

相続税、地価税等土地税制に関する要望書

近年の東京都区における異常な地価高騰の状況は、住民生活はもとより地方自治体の行政運営にも多大の影響を与えています。土地の路線価が引き上げられたことにより、相続税納税のため自ら居住してきた比較的小規模な住宅地も手放さなければならぬという実情であり、また、地方自治体においては、まちづくりや高齢化社会などに対応する施策を進めるための用地の取得が、財政上極めて困難になってきております。

よって、政府におかれては、東京における相続税納付者の実態をしんじやくして、相続税の減税にご配慮いただくとともに、地価税収入の用途に関しては地方自治体の公有地取得の財源に充てられるよう、左記のとおり要望いたします。

一、地価引き下げのための対策を講じるとともに、相続税の路線価及び税率の引き下げ、現行の小規模宅地二〇〇平方メートル以下に対する減税措置を三〇〇平方メートル以下にするなど、相続税の軽減措置を講じられたい。

二、平成4年1月1日に実施予定の地価税の用途については、起債への利子補給など、地方自治体の公共事業用地の取得財源とされたい。

3年12月16日 内閣総理・大蔵・建設・自治大臣あて提出  
白内障人工水晶体(眼内レンズ)の保険適用に関する要望書

高齢化社会の進展に伴い、老人性白内障患者が年々増加しております。従来、白内障の治療は手術後、度の強い眼鏡やコンタクトレンズを使用する方法がとられていましたが、厚生省は昭和60年に人工水晶体(眼内レンズ)による手術を許可しました。これに伴い、医師は他に合併症のおそれのない患者に対し、この手術を

勧めるようになり、多くの患者が眼内レンズを使用するようになりました。しかし、多額の経費を要するこの手術には、健康保険の適用が認められていないため、費用の負担が困難な患者は、手術を受けられないという実情にあります。よって、世田谷区議会は、人工水晶体(眼内レンズ)を使用した手術を希望する誰もが安心して受けられるよう、眼内レンズの健康保険適用を早急に認めることを強く要望いたします。

3年12月19日 内閣総理・厚生大臣あて提出  
私立学校への助成に関する要望書

私立学校は我が国の学校教育の普及と発展に多大の貢献をしてきました。平成3年5月1日現在、私立の幼稚園、小中高等学校は一万八八六校(園)、幼児及び児童生徒数一八四万人で、それぞれ個性的魅力ある学校づくりに努め、地域や保護者から高く評価されております。

よって、貴職におかれては、教育条件や保護者負担のいわゆる公私格差を是正するため、生徒等の急減期における特別助成を行われるよう、世田谷区議会として強く要望いたします。

4年2月21日 内閣総理・大蔵・文部大臣あて提出  
私立学校への助成に関する要望書

私立学校は我が国の学校教育の普及と発展に多大の貢献をしてきました。都内の私立幼稚園、小中高等学校は一四八五校(園)、幼児及び児童生徒数は五四万人で、それぞれ個性的魅力ある学校づくりに努め、地域や保護者の期待にこたえてきたところであります。よって、私立高等学校等に対して経常費補助、父母負担軽減措置等を実施されていますが、保護者が支出した教育費は公立と比べると差があり、学級定員の引き下げも厳しい状況にあります。

よって、貴職におかれては、教育条件や保護者負担のいわゆる公私格差を是正するため、生徒等の急減期における特別助成を行われるよう、世田谷区議会として強く要望いたします。

4年2月21日 都知事あて提出  
水質基準の見直しに関する要望書

私たちの日常生活に直結している安全な水道水の確保は、健康を守るために欠くことができないものです。しかし、近年、水源への生活排水の流入や、農薬、トリクロロエチレンなどによる水質汚染が生じ、人体に及ぼす影響が懸念されております。

現行の水道法は、水質基準について26項目を定めていますが、これでは水道水の安全性を確保するためには不十分であります。現在、国においては水質基準の見直しが行われていますが、安全な水道水が供給されるためにも、より高い基準を設定されることを強く要望いたします。

4年2月21日 内閣総理・厚生大臣あて提出  
学校給食用米穀の国庫負担削減の見直しを求める要望書

米飯給食は、我国の食文化である米飯を給食に取り入れ、栄養を配慮した正しい食習慣の形成のために導入され、国庫の負担措置により普及拡大してきております。しかしながら、大蔵省は来年度の予算編成にあたり、米飯給食用の米穀に対する負担措置の削減を行おうとしております。

これが実施されれば、児童・生徒の保護者への負担増を強いる一方、米飯給食の縮小や学校給食の運営等にも大きな影響を及ぼすものであります。よって、世田谷区議会は、学校給食用米穀の国庫負担削減の見直しをされるよう強く要望いたします。

4年2月21日 大蔵・文部・農林水産大臣あて提出

若葉青葉を渡る風もすがすがしく、緑の深い頃となりました。活気あふれる季節です。積極的に行動すれば、いつもと違った素敵な事に会えるかもしれません。

区議会定例会は、3、6、9、11月の年

4回開かれます。傍聴においてになり、会議の様様を直接ご覧になってはいかがでしょうか。また、各総合支所では、本会議や予算・決算委員会の様子をビデオ放映します。

区議会に関するお問い合わせは、区議会議務局までお寄せください。  
☎(三四二二)一一一一

ふるとせたがや

—あの頃 この頃—

今号では、昭和37年の千歳鳥山駅前の様子を紹介します。ちょうど、東京オリンピックに向けて、道路などの整備が急ピッチで進んでいた頃です。東京都の人口が初めて一千万人を超えたのもこの年でした。

から、「鳥山寺町」とも呼ばれ、親しまれています。現在、千歳鳥山駅は一日8万人近くの人々が利用し、駅前商店街は、区を代表する商店街の一つに発展しました。昨年には、ショッピングプロムナード「えるもーる鳥山」も完成し、鳥山地域の中心として大きなきわいを見せています。



現在の様子▶



編集後記

若葉青葉を渡る風もすがすがしく、緑の深い頃となりました。活気あふれる季節です。積極的に行動すれば、いつもと違った素敵な事に会えるかもしれません。

区議会に関するお問い合わせは、区議会議務局までお寄せください。  
☎(三四二二)一一一一